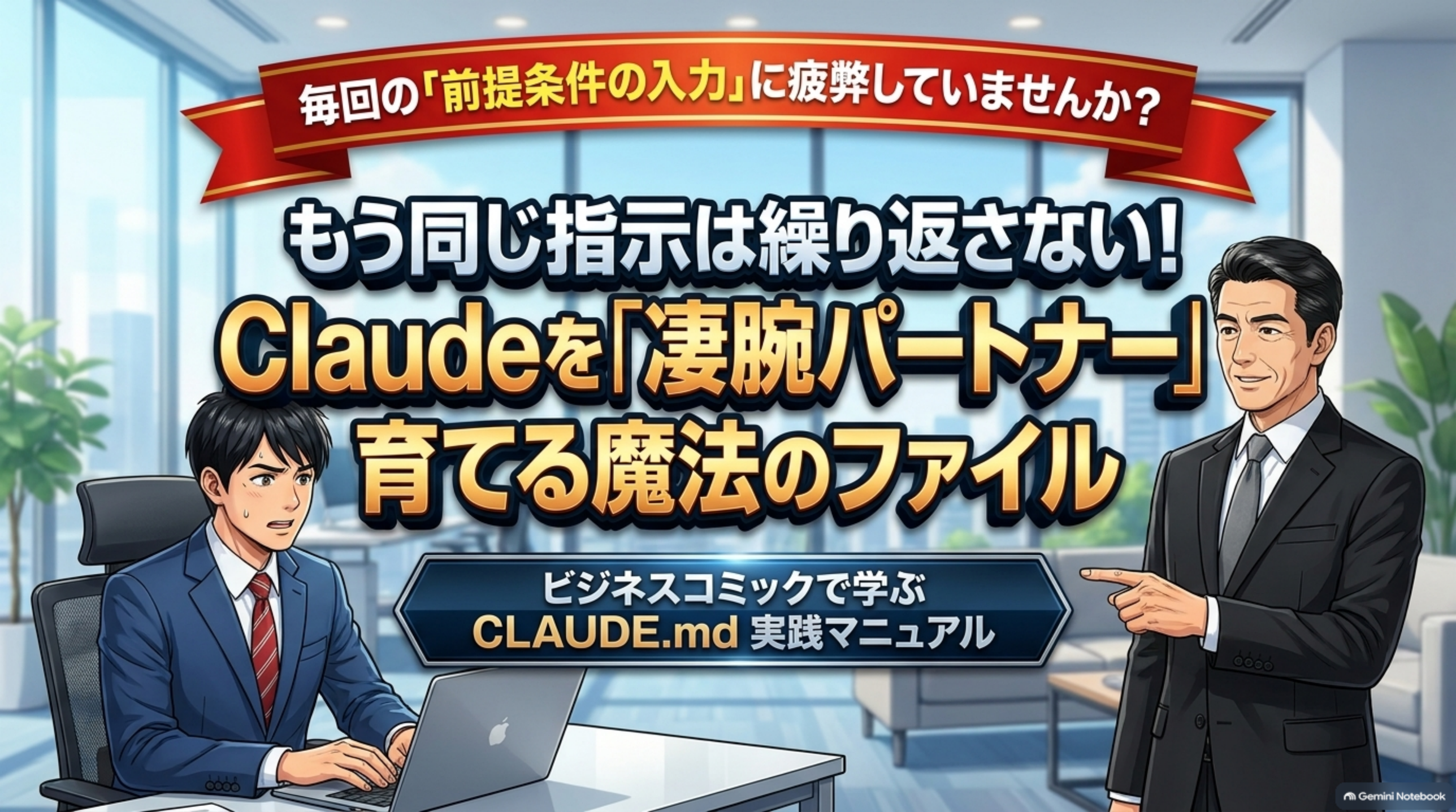

毎回の「前提条件の入力」に疲弊していませんか？
もう同じ指示は繰り返さない！
Claudeを「凄腕パートナー」
育てる魔法のファイル
ビジネスコミックで学ぶ
CLAUDE.md 実践マニュアル
Gemini Notebook


はぁ…
新しいセッションを
立ち上げるたびに、
インデントや口調をの、
本当からに面倒だ…
このプロジェクトのインデントはスペース2つで… コミットメッセージには絵文字を… 変数名はキャメルケースで… ログレベルは…
それはClaudeを
『初対面のアシスタント』として
として扱っているからだ。
損失だな。
知的生産の大きな損失だな。
委任
記述
見極め
誠実さ
我々の4Dフレームワークにおいて、
君に欠けているのは
『記述(Description)』だ。
期待値が記述されていないから、
適切な『委任』が成立していない。


プロジェクトのルートに置く規約ファイル
『CLAUDE.md』
CLICK!
MANUAL
CLAUDE.md
Steerability(操作可能性)
AI
AIの特性である『ステアラビリティ(操作可能性)』。この操縦席をガッチリ固定する定する魔法の器が…
これを最上階層に置くだけで、Claudeは起動時に自動で読み込、プロジェクトの『暗黙の了解』を自身のワーキングメモリに常駐『憲法』として扱うんだ。

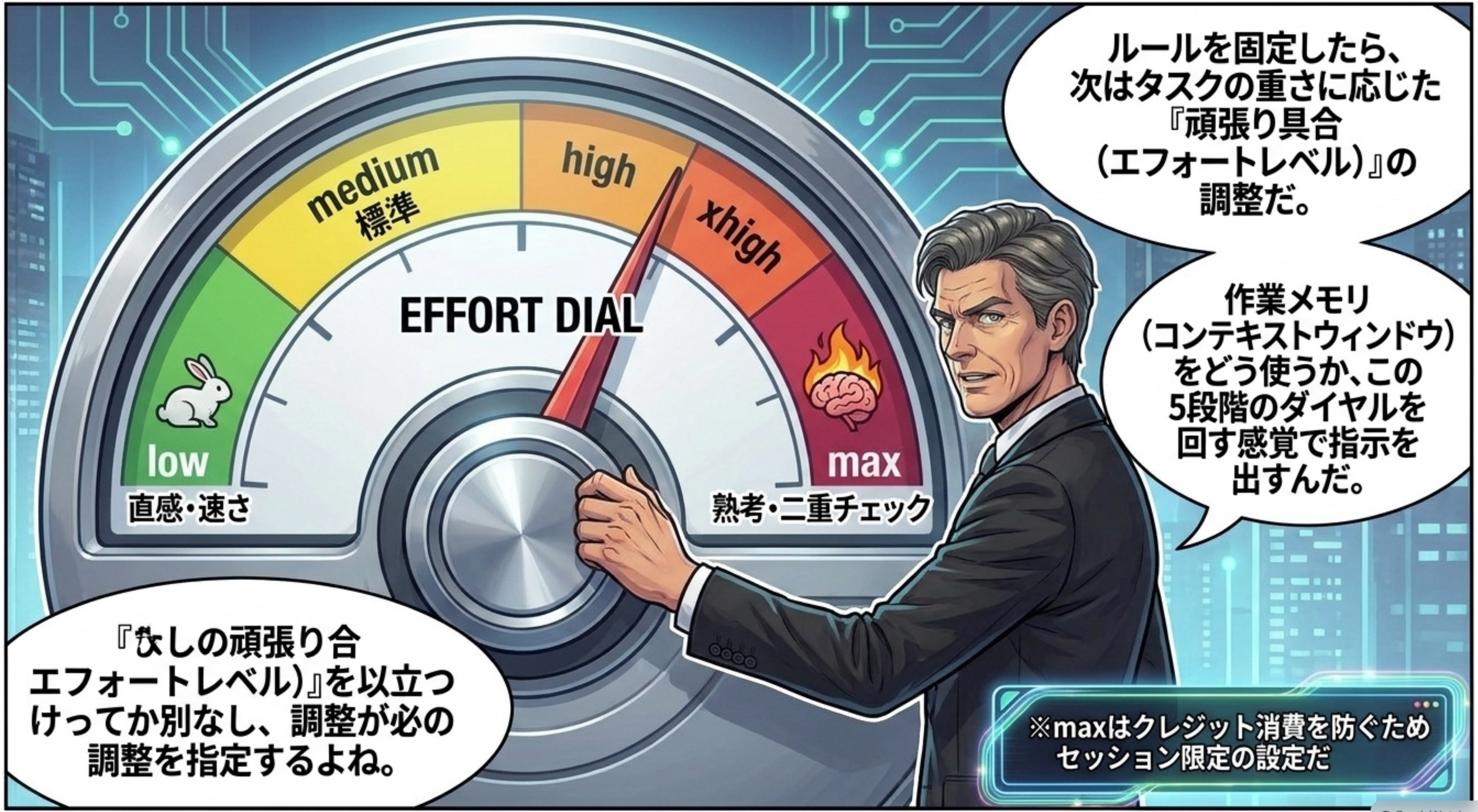

React? Vue?
Indent 2 spaces? style?
Indent 2 spaces?
TypeScript strict mode?
Commit message style?
Library versions?
Z run ...
どのような言語やスタイルで記述しますか？
Library versions?
Before（毎回説明） vs After（阿吽の呼吸）
『新機能を作って』の一言だけで…俺のやり方を完全に再現してきた…！
CLAUDE.mdに従い、TypeScript/Next.jsの規約遵守で実装案を作成しました
新機能を実装して
ボス：説明不要。君の思考の癖まで把握した『凄腕パートナー』の誕生だ。


はいっ！
（大文字、大文っと…）
はいっ！
（大文字、
大文字っと…）
他人（26yo）
> touch CLAUDE.md
すべて大文字
絶対に忘れるな。
ファイル名は
ファイルは『すべて大文字』だ。
小文字（claude.md）では
でAIは認識してくれないぞ。
まずは器の作成だ。
ルートディレクトリに移動して、
このコマンドを打て。


でも、具体的にどんなルールを書けば…？
Webアプリ開発
- Framework: Next.js
- Components: PascalCase
データ分析
- Python, Pandas
- 欠損値処理は必ず最初に
文書執筆
- トーン: 親しみやすく専門的
- 漢字比率30-40%
プロジェクトの性質に合わせて『技術スタック』『命名規則』『コマンド』を定義するんだ。自律的（Agency）に動くためのアンカーになる。



Gemini Notebook


ルールを固定したら、
次はタスクの重さに応じた
『頑張り具合
（エフォートレベル）』の
調整だ。
作業メモリ
（コンテキストウィンドウ）
をどう使うか、この
5段階のダイヤルを
回す感覚で指示を
出すんだ。
EFFORT DIAL
low
直感・速さ
medium
標準
high
xhigh
max
熟考・二重チェック
『なしの頑張り合
エフォートレベル）』を以立つ
けってか別なし、調整が必の
調整を指定するよね。
※maxはクレジット消費を防ぐため
セッション限定の設定だ
Gemini Notebook

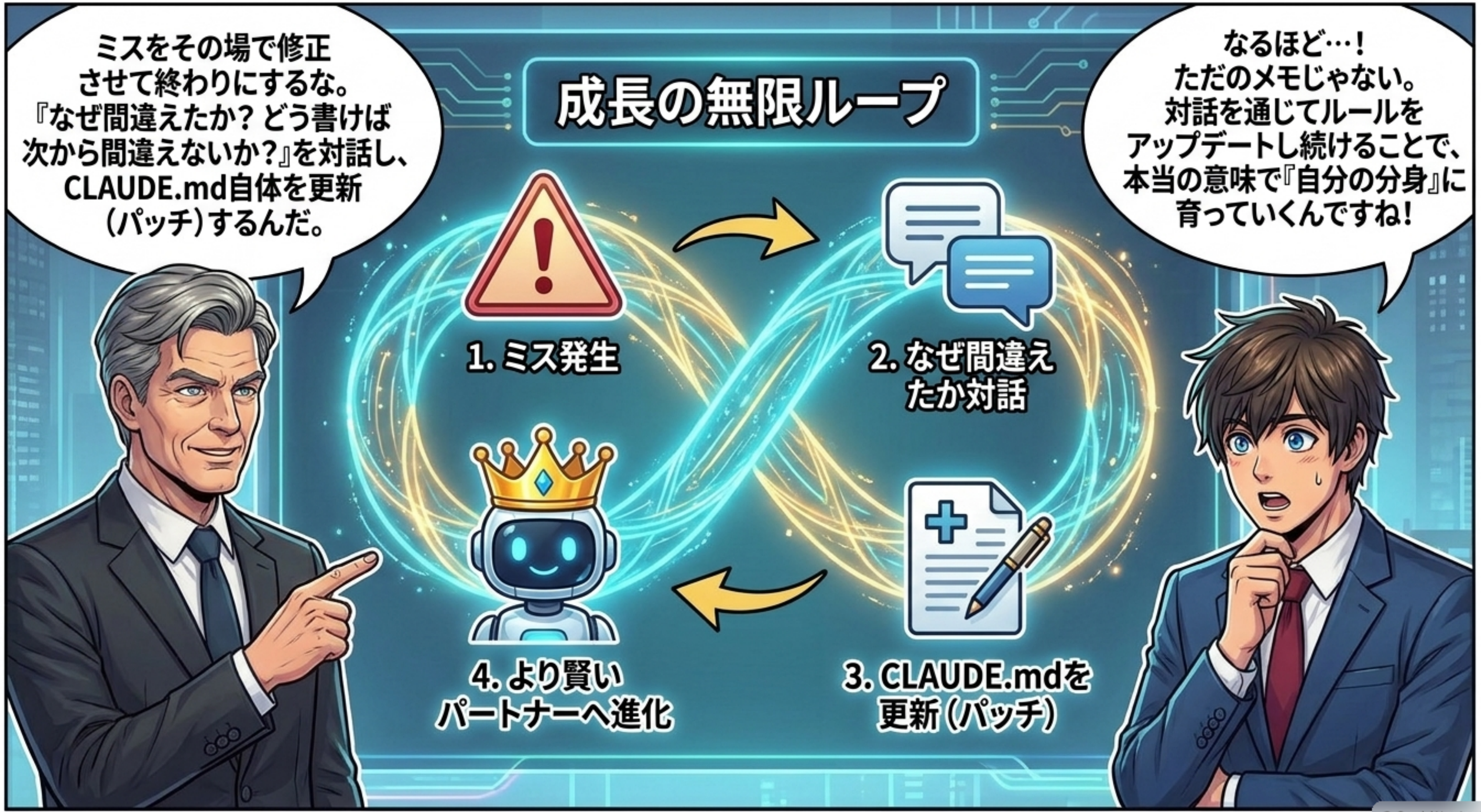






Gemini Notebook


ERROR DIAGNOSTIC BOARD
エラー診断ボード
大文字チェック
(claude.mdに
なっていないか?)
階層チェック
(ルートにあるか?)
作業メモリの飽和
(/compact
コマンドで整理)
追従性
(Sycophancy)の罠
(ユーザーの誤りに
迎合していないか?)
アーティファクト
効果
(見た目だけの綺麗な出力
に騙されていないか?)
AIの『推論のドリフト』だな。
出力が綺麗だからと油断する
『アーティファクト効果』に騙される
な。君の『評価力』で原因を
特定するんだ。
あれ?設定した
はずのルールを
無視してきました…


成長の無限ループ
ミスをその場で修正させて終わりにするな。『なぜ間違えたか？ どう書けば次から間違えないか？』を対話し、CLAUDE.md自体を更新（パッチ）するんだ。
なるほど…！ ただのメモじゃない。対話を通じてルールをアップデートし続けることで、本当の意味で『自分の分身』に育っていくんですね！
1. ミス発生
2. なぜ間違えたか対話
3. CLAUDE.mdを更新（パッチ）
4. より賢いパートナーへ進化



今すぐあなたのプロジェクトディレクトリで実行しよう！

```
> touch CLAUDE.md
```

（※AIデューデリジェンス声明のルールも忘れずに！）

Gemini Notebook